

令和5年度 第2回扶桑町地域公共交通会議 議事要旨

日時：令和5年6月26日（月）午後2:00～

場所：扶桑町役場2階大会議室

出席者：〈委員〉18名中15名

中部大学教授《会長》	磯部 友彦
犬山タクシー株式会社	長屋 涼
愛知県タクシー協会	松浦 秀則
犬山タクシー株式会社 運転手代表	永川 博之
扶桑町老人クラブ連合会代表	間宮 進示
扶桑町身体障害者福社会代表	源口 千秋
扶桑町山那地区代表	大滝 雅男
扶桑町北新田地区代表	長瀬 直子
国土交通省 中部運輸局愛知運輸支局	宮川 高彰
愛知県一宮建設事務所 維持管理課長	渡邊 浩行
愛知県犬山警察署 交通課長	早川 健太
扶桑町副町長《副会長》	北折 廣幸
名古屋鉄道株式会社	花村 元気
社会福祉法人 扶桑町社会福祉協議会	尾関 麻也
株式会社アイシン	杉山 仁

〈事務局〉3名

生活安全部長	長谷川 明夫
生活安全部 地域協働課長	兼松 孝行
生活安全部 地域協働課 主事	横井 航太

- 会議資料：資料1：チョイソコふそう実証運行経過報告について（概要版）  
 資料2：運行事業者プロポーザルの結果について  
 資料3：交通不便地域指定申請書の提出について  
 資料4：令和4年度扶桑町地域公共交通会議決算の承認について  
 資料5－1：扶桑町地域内フィーダー系統確保維持計画について  
 資料5－2：地域公共交通確保維持改善事業を行う地域の概要  
 資料6：扶桑町地域公共交通計画策定について  
 資料7：地域公共交通運行・地域公共交通計画策定スケジュール  
 資料8－1：チョイソコふそう実証運行期間の延長について  
 資料8－2：チョイソコふそう実証運行の運行計画（案）  
 資料8－3：営業区域を図示した地図（乗降地点を記載したもの）  
 参考資料：死亡事故発生速報（犬山警察署）、電動キックボード

## 1 開会

【事務局】 開会の挨拶を行う。

【磯部会長】 挨拶を行う。

【事務局】 扶桑町地域公共交通会議の委員数 18 名に対し、本日は 15 名が出席されている。過半数を超えているので、本日の会議が成立していることを宣言する。代理出席と説明者の出席を報告。傍聴者について説明を行う。また、配付資料の確認を行う。

【磯部会長】 議事録署名者に北新田地区民生委員・児童委員 長瀬委員、愛知県タクシー協会 松浦委員を指名。

## 2 議題

### (1) 報告事項

#### ① チョイソコふそう実証運行経過報告について

【事務局】 事務局兼松課長より資料 1 に沿って説明

【宮川委員】 往復利用か片道利用か把握できるか。片道利用の場合、代わりに何を使ったかわかると良い。

【事務局】 往復・片道利用のデータは把握しているが、代替手段が何かまではわからない。

【磯部会長】 必要であれば、会員のアンケート等でデータはとれる。現時点で片道・往復の利用件数はわかるか。

【事務局】 把握しているデータでは、復路で利用している方は往路でも利用している。往路だけの利用者もいる。少数だが午後に復路だけの利用者もいる。データを見ているだけで、集計等はしていないので傾向までの把握は出来ていない。

【花村委員】 インターネット予約が増えているようだが、インターネット予約をする方の利用回数が増えているのか、インターネット予約する利用者数が増えているのか。

【事務局】 把握しているデータでは、同じ利用者の利用回数が増えている。電話からインターネットに予約方法が変わっているわけではない。

② 運行事業者プロポーザルの結果について

【事務局】 事務局兼松課長より資料2に沿って説明

【委員】 意見なし

③ 交通不便地域の指定について

【事務局】 事務局兼松課長より資料3に沿って説明

【委員】 意見なし

(2) 協議事項

① 令和4年度扶桑町地域公共交通会議決算の承認について

【事務局】 事務局兼松課長より資料4に沿って説明

【磯部会長】 事業費は具体的に何に使ったのか。

【事務局】 事業費は計画策定業務の費用である。

【磯部会長】 その他意見、異議がなければ、承認でよろしいか。

【委員】 異議なし

② チョイソコふそう実証運行期間の延長について

【事務局】 事務局兼松課長より資料8-1, 8-2, 8-3に沿って説明

【宮川委員】 チョイソコふそうが江南市の公共交通体系にどのような影響を与えるか、十分に調整できていなかった。今後も実証実験を通して利用実態を確認して、影響を考慮した上で計画に反映してほしい。計画策定

に関しては、実証実験のデータを踏まえて交通軸を検討してほしい。

【大滝委員】 延長1年というのは長すぎないか。半年ではできないのか。

【事務局】 扶桑町から江南市の江南厚生病院への乗り入れが前提にあり、公共交通を検討するにあたって扶桑町からの病院利用者数が必要で、現時点では令和3年度までしかわかっておらず、令和4年度の数字がわかるのが早く今年12月であり、半年では時間が足りない。様々なデータを収集して検討する必要がある。

【花村委員】 人が集まる施設へは既存の交通機関もあり、他の公共交通機関への影響をしっかりと検討する期間として使ってほしい。

【宮川委員】 延長期間の間も定期的に実態を会議に報告するようにしてほしい。

【磯部会長】 実証運行の期間延長は、利用者側にデメリットがあるか。

【事務局】 延長しても、停留所の位置などは変化ないので、住民へのデメリットはない。急いで実施した場合には、江南市との調整がうまくいかず、江南厚生病院を外すということになる可能性があり、住民にとってデメリットとなる。

【磯部会長】 当初の予定を変更し、実証運行を1年延ばすということに異議がなければ、承認でよろしいか。

【委員】 異議なし

【磯部会長】 実証運行は最長3年間という期間可能なので、本格運行への移行の際にはまた改めて協議を行うこととなる。協議が整った段階で、いくつか軌道修正が必要になってくるかもしれないので整理したい。現段階では資料5-1、5-2については保留となる。資料2についてはどうか。

【事務局】 報告事項②のとおり、引き続き運行をお願いする。

### ③ 地域公共交通計画策定について

- 【事務局】 事務局兼松課長より資料6に沿って説明
- 【コンサル】 実証運行の延長や江南市との協議を整える時期等で、地域公共交通計画の内容が変わってくるが、どのようなスケジュールでいくのか。
- 【宮川委員】 令和6年10月から本格運行とする場合、今年度中に地域公共交通計画は策定するが、出来上がるまでに本格運行の有無の方向性を決定する方法が望ましい。
- 【コンサル】 今年中に公共交通計画を作成し、パブコメ実施後、来年2月に改訂版を作成するというので、本年内が協議機関ということが良いか。
- 【宮川委員】 一旦チョイソコふそうの本格運行と国庫補助（フィーダー系統含む）に関する箇所を除いたものを作成し、その後すぐに改訂ということになる。
- 【磯部会長】 今年度で地域公共交通計画は策定するが、実際のチョイソコふそうの具体的な方針は二段構えで行うということ。
- 【宮川委員】 公共交通計画の期間を令和6年10月開始にすることはできないか。チョイソコの本格運行の補助を受ける期間と計画開始の時期を合わせたほうが良いかもしれない。
- 【事務局】 期間については今後検討する。
- 【磯部会長】 総合計画等色々ある中で、地域公共交通計画の位置づけ、時期をずらす事が可能かの検討。作業の効率化を図りたい。
- 【コンサル】 基本方針について補足説明。  
施策案を挙げているが、事務局案であって、他に何ができるかアイデアをいただきたい。
- 【磯部会長】 交通事業者だけでなく皆で工夫して行っていくことが施策となるので、組み合わせて良いものにしていきたい。
- 【花村委員】 基本方針1の目標値が年単位でなく1日単位になっているので修正が必要。確認指標1のチョイソコふそうの単位はどうなっているのか

確認してほしい。また、上位・関連計画に来街者や交流人口の増加といった切り口があった場合には、方針も変わってくると思う。

【磯部会長】 駅前の駐輪場もかなり使われているようなので、住民だけでなく来街者等も含めて考えていきたい。観光施設と絡めて何かできないか。

【事務局】 表だった観光施設がなく、作らなければならないが難しい。

【宮川委員】 扶桑町内で確保すべき交通軸は描くのが難しいかもしれないが、まちづくりの面で期待される結ぶべき主要施設・交通軸がないか整理してみてもどうか。そういった交通軸があれば適した交通手段を設定できるかもしれない。また、江南厚生病院以外でも町外に必要な施設があれば、町外とのつながりを追記してもよい。

【磯部会長】 交通の流れをまちの計画として考えれば繋がってくるかもしれない。立地適正化計画や都市マスタープラン等を参考に設置施設や、町外との交通ネットワークの配置等、町内外を含めて整理していくと何か見えてくるかもしれない。

【事務局】 ご意見を参考に検討する。

【北折副会長】 観光として、国土交通省が緑地公園に力を入れていて、犬山・江南・一宮・稲沢・岐阜にわたって、サイクリングロードを造るような構想がある。サイクリングだけではなく、賑わい創出が図れるよう各自治体と施設設置を考える会議も行っているのだから、柏森駅や扶桑駅から緑地公園への交通網が考えられるのではないか。交通軸については、総計、都市マスともに高雄の土地利用を見直し、産業流通ゾーンとして位置付けようと考えており、従業員等の交通網が必要となるかもしれない。

【コンサル】 施策案については、少し検討する時間が必要なので、1週間程度期間を設けて、アイデアを出していただきたい。

【磯部会長】 すぐに実現可能かどうかではなく、要望や工夫していること等でもあれば積極的に出してほしい。木曾川流域の平坦な土地柄で自転車が使いやすく、パーク&ライドやサイクル&ライド等が行いやすいなど、いろいろなアイデアを出していただきたい。

協議事項としているが、進めている方針等を了承いただき、計画をまとめていくということによろしいか。

【委員】 異議なし

④ 地域公共交通計画運行・策定地域公共交通計画策定スケジュールについて

【事務局】 スケジュールに変更が発生したため、検討して次回会議にて改めてお示しする。

その他

【早川委員】 交通死亡事故発生と電動キックボードについて説明。

3 閉会

【事務局】 閉会の挨拶を行う。

令和 5 年 7 月 4 日

本書は、令和5年6月26日に開催された扶桑町地域公共交通会議の議事要旨に相違ないことを証する。

署名人 松浦 喬 剛

署名人 長瀬 直子